

クラッチ / シフト操作の自動化

VFR1200F Dual Clutch Transmission では、クラッチとシフトの操作を自動化し、今まで走るために必要であった操作を減らしました。これにより、スロットルやブレーキ、ハンドリング操作に集中でき、ワインディングでのスポーツ走行や渋滞路での疲労低減など、ツーリングの様々な場面に更なる楽しさと快適性とをもたらします。モード切替え / シフト操作は専用設計されたハンドルスイッチにより行います。

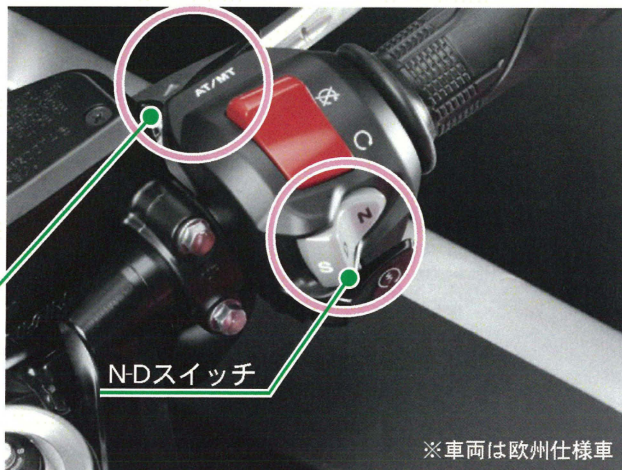
達成手法

専用ハンドルスイッチ

AT/MTスイッチ

NDスイッチ

※車両は欧州仕様車



「Dモード」⇔「Sモード」切り替え

ハンドル右手側の N-D スイッチで切り替えます。インストルメントパネルのギアポジション表示の上部に D または S が表示されます。

「AT(D/S)モード」⇔「MTモード」切り替え

ハンドル右手側の AT/MT スイッチで切り替えます。インストルメントパネルのギアポジション表示から D または S 表示が消え、ギアポジションのみが表示されます。

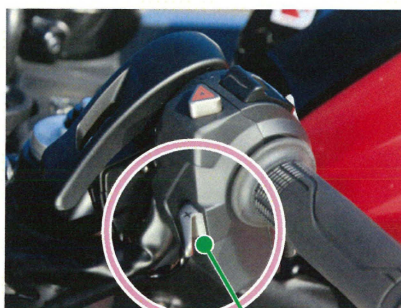
シフトチェンジ

ハンドル左手側のシフトアップ / ダウンスイッチでシフトチェンジします。「MTモード」走行時のみならず、「AT(D/S)モード」で走行中でも、シフトアップ / ダウンスイッチを押すことで MT モードへの移行が可能です。例えば、よりエンジンブレーキを必要とする場合などに有効です。

シフトアップスイッチ



シフトダウンスイッチ



シフトアップスイッチ

